

p102・社会は、消費することをやめることができないと動揺に、生産することをやめることもできない。…それゆえに、あらゆる社会的生産過程は、同時にまた再生産過程である。

- ・生産の諸条件は、同時に再生産の諸条件である。
- ・生産物中の一定量は、生産用としてなくてはならない。それは初めから生産的消費に向けられていて、大部分は、おのずから個人的消費に適しない現物形態で存在する。

p103・単純再生産は、同じ規模の生産過程の単なる反復であるにもかかわらず、ある種の新たな性格をこの過程に捺印する。

p104(後払い)・労働者は、剰余価値と同様に、可変資本をも、労働賃金の形態で彼の手に環流する以前に生産している。彼は、たえずこの原本(可変資本)を再生産するあいだけしか使用されない。

at!!-第 16 章 II の項に述べた経済学者の表式

p104-105・貨幣形態が産み出す幻想

労働者が生産する生産物の一部分を、資本家は貨幣形態で与える。

生産物の商品形態と商品の貨幣形態とが、この取引を覆い隠す。

p105-106・賦役農民の例

p107-(スタートは)・資本家はかつていつか、他人の不払労働には依存しない何らかの本源の蓄積によって貨幣所有者になった。

かくして、労働力の買い手として市場に入りえたのである。

p107-110・単純再生産は…単に可変資本部分のみではなく、総資本にも及ぶ驚くべき変化を引き起こす。

- ・ p108 資本が生産過程に入った時にはその充用者のみずから働いて得た財産だったとしても、早晚それは…他人の不払労働の体化物となる。

- ・ p109 初めは単に出発点にすぎなかったものが…単純再生産を介して、資本主義的生産の固有の結果として、たえず新たに生産され、永久化される。

- ・ 労働者の生産物は、生産手段に転化され、彼を支配し搾取する力として生産し、…

p110 労働者を賃金労働者として、生産する。この労働者の不断の再生産または永遠化が、資本主義的生産の不可欠の条件なのである。

p110-113(労働者の生産的消費と個人的消費)

- ・ 労働者の行う消費は二様である。

- ・ 第一の消費は…資本の動力として行動＝資本家の生活

第二の消費では、生産過程の外部で生活機能を行う＝労働者自身の生活。

- ・ 「一つの濫用として現れる」(第二の消費)

p112・資本家は…労働者の個人的消費をできるかぎり必要物に制限する

p113・資本家は…労働者階級の永久化に必要な部分のみを生産的と見なす

快樂のための消費は、不生産的

p114-118(労働者階級の再生産・移住)

- ・ 労働者階級は、死んだ労働用具と同様に資本の付属物である。個人的消費も資本の再生産過程の一要因にすぎない。

- ・ 賃金労働者は見えざる糸によって、その所有者に繋がれる。…契約という法的擬制とによって維持される

(機械労働者の移住の禁止)※ 1815 年まで

・労働者階級の再生産－(機械労働者の)熟練の伝達と累積。

恐慌がこのような階級の消失の脅威…アメリカ南北戦争、綿花飢饉

p118-122(二種の機械)死んだ機械と活きた機械装置…人間機械装置のこと

(まとめ)p122

・資本主義的生産過程は、…商品を生産するのみではなく、剰余価値を生産するのみではなく、資本関係そのものを、一方には資本家を、他方には賃金労働者を、生産し、再生産するのである。

マルクスにおける移民問題について

鍛治邦雄(関西大学?)

○移民の記述が最初に現われるのは、第3篇第8章「労働日」である。資本主義的搾取にとって、恒常的な過剰人口の存在が不可欠の条件であることを述べた部分で、資本の無制限な価値増殖欲求がもたらす労働力の消耗は、英国各地方の農村地帯やドイツから補充されることが指摘(10) ... されている。さらに、熱病的好況期に激しくなる労働力の欠乏が、海外移住(11)によりいっそう強められるという注が付されている。ここでは、資本主義的人口現象に固有な二つの特徴、すなわち、資本主義的生産は過剰人口の存在を不可欠の条件とすること

○第21章「単純再生産」では、イギリスにおいて機械労働者の移住が1815年まで禁止されていたことを例に、資本主義的生産諸関係の未成熟な段階では、<資本>は自由な労働力にたいする自分の<所有権>を、強制法によって発動させたことが指摘されている。

「社会的見地からすれば、労働者階級は、直接的労働過程の外でも、生命のない労働用具と同じに資本の付属物である。」「<資本>にたいする<賃労働>の社会的従属」が確立することこそが、資本主義的再生産の不可欠の条件であり、このことは資本家の意識に<自由な労働力にたいする所有権>として反映されることになる

○第21-23章では、移民や植民地についての言及はすべて「<資本>にたいする<賃労働>の社会的従属」の確立と関連して行われているのである

○アイルランドからの移民…1840年代からは主にアイルランドから年間100万単位での移民が行われる。その契機となったのは1845年からアイルランドで起こったジャガイモ飢饉であった。彼等アイルランド系(Irish)は祖国での貧困から逃れるために移住したので、低賃金労働に従事し、一部の成功者を除いて都市の下層社会を構成した。またその多くはカトリックであったので、プロテスタント社会とは別個の社会を作っていた。大統領となったケネディはアイルランド系カトリックの成功者であった。